

銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役
橋本 健一郎

10月のアルミ概況及び11月の見通し (4)

【見通し】

自動車は生産が-0.3%。国内販売台数が前年比+13%
生産は3カ月連続マイナス。

販売が大幅に拡大しておりこれが続くかどうか今後
に注目。

住宅着工の動向については、前年同月比で-1.5%と
1か月ぶりマイナス。

今後マイナス傾向が続くのか今後の動向に注目。

アルミ圧延・押出品生産数は、板類・押出生産合計
は前年比-5.5%、9カ月連続マイナス。

板類100,561 t、-2.3%、9ヶ月連続でマイナス。

押出類62,631 t、-7.2%、4ヶ月連続でマイナス。

今後更にマイナスが続くかの動向に注目。

【アルミニウム2次合金、同合金地金等生産実績】

前年比-1.4%、6万8494 t、12か月ぶりマイナス。

出荷は-2.8%、6万8174 t、12か月ぶりマイナス。

今後更にマイナスが続くかの動向に注目。

アルミ輸出は、アルノルテ精錬所が生産能力の50%
で稼働を再開することを表明したここからのLME安
を受けて減少。

アルミ輸入は円安から地金、2次合金は減少。スク
ラップは上記精錬所の再開から割安がでて増加。

【スクラップ景況予想】

流通在庫は相変わらず中国塊の下落を受けてスク

ラップも連れて下落しており売り玉があるのでは？

需要面に関しては各種需要は安定、台風による荷止
めなどの被害も治まったとのこと。

【LME・為替予想】

今月は米中間選挙と米中貿易戦争の動向に左右
される。

米中間選挙に関しては各種世論調査など結果からす
れば上院は共和党が過半数を維持する公算。下院では
民主党が多数派を奪還する勢いとのことで捻れ国会に
なる可能性が高い。

米中貿易戦争の動向に関してはトランプ米大統領が
中国との貿易合意の草案作成を要請したとの報道があり、
米中貿易摩擦の解決に対して何らかの妥協策がで
てくるのではないかと？

これらを踏まえた10月のアルミ価格は、米中間選挙
でトランプ共和党が勝利し、米中貿易戦争で何らかの
前進がみられた場合、2,100ドル付近。両条件が揃わ
なかった場合、現状からもう一段安の1,900ドル付近
まで下落するとの予想。

ドル円値は111円~114円(TTM)台を予測。

スクラップ購入価格に関しては-5~0円程度と予測
している。

【「10月のアルミ概況及び11月の見通し」終了】

非鉄金属全般
銅 澤・新棒コロ
誠実対応の 高田商店

代表者 高田才吉

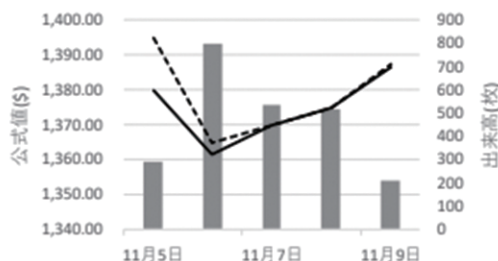
〒544-0001 大阪市生野区新今里7丁目11-11

☎ 06-6753-1643

FAX 06-6753-4545

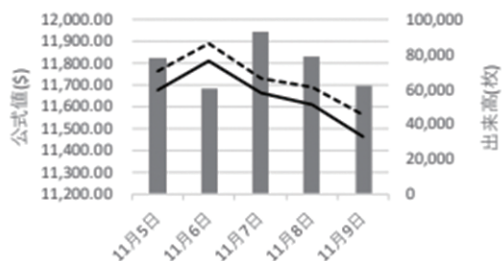
LME公式値週間推移 11月5日~11月9日(現地)

LME北米特殊アルミ合金



出来高 直物 先物

LMEニッケル



出来高 直物 先物